

河川協力団体

株式会社 エコテック

株式会社エコテックは、石狩川水系夕張川の『幌向地区自然再生地』において湿生植物の保全活動が続けるさまざまな団体や教育機関と連携し、ミズゴケの栽培・移植活動を継続してきました。かつて石狩川下流の低平地に広がっていた高層湿原の貴重な環境を未来に残すことに取り組んでいます。

【平成3年(1991年)設立】



幌向地区自然再生地

河川協力団体としての活動内容

(令和7年3月26日河川協力団体指定)

石狩川水系夕張川(幌向地区自然再生地)

- ・ミズゴケの栽培・移植
- ・導入種保護のための外来種除去
- ・各主体による環境啓発イベント等支援



主な活動状況

ミズゴケの栽培・移植活動

幌向地区自然再生地では、高層湿原の基盤として欠かすことのできないミズゴケが最も不足しており、できるだけ多くの人々の協力を貰いながら、ミズゴケを増やし、再生地に移植する地道な活動を継続することで、貴重な湿生植物を次世代へ残します。



栽培用ミズゴケの配布

外来植物等の除去活動

幌向地区自然再生地の維持に協力している様々な団体と連携して導入種の定着を阻害する外来植物などの駆除を実施。また、地元の幌向小学校などによる湿地性植物の移植体験活動をサポートします。



帰化植物の駆除

教育機関等と連携した活動

江別太遊水地造成時に見つかったミズゴケの一部を星置養護学校の授業で栽培(平成30年6月から)。増やしたミズゴケを幌向地区自然再生地へ移植(令和4年～令和6年まで3回)。栽培の輪は新たな教育機関にも広がり、今後もこの作業を毎年継続して参ります。



ミズゴケ栽培の勉強会